

# 欧州の経済・金融・政治動向の現状と展望

みずほ銀行チーフマーケット・エコノミスト

唐鎌大輔

- \* 輸出減速から景気後退色強まる
- \* EUの現状を表す欧州委員会のイタリア対応
- \* 緊縮強化でEU全体のドイツ化が進む
- \* イタリアに残る金融システム不安
- \* 脱QEでもECBの利上げが難しい理由
- \* 2019年に相次ぐ選挙という不確定要素
- \* ドル高・ユーロ安が続く背景
- \* ドラギECB総裁の後任は誰か
- \* ドイツとの不均衡問題をどうするか
- \* 英国の合意なしEU離脱に現実味



**柴生田** それでは開会いたします。（拍手）

今日は、久しぶりにヨーロッパの情勢についてお話をさせていただく予定でございます。初めになります。みずほ銀行の唐鎌さんにおいでいただきました。ヨーロッパと為替がご専門でそうでございます。ここでは大学の先生などにヨーロッパの情勢を伺っておりますが、大抵皆さん政治、法律がご専門でございます。今日は、EUを中心としたヨーロッパの情勢について、経済の話をさちんとさせていただけるということでお呼びいたしました。

イタリアの情勢や、ドイツも地方選挙で与党が大敗するなどいへん難しい情勢になっております。来年に向けてヨーロッパ経済、ヨーロッパの政治全体としてどうなっていくのか、わ

れわれも非常に興味があるところでございますので、じっくりお聞きいただきたいと思っております。それでは唐鎌さん、よろしくお願いいたします。（拍手）

**輸出減速から景気後退色強まる**

**唐鎌** ただいまご紹介にあずかりましたみずほ銀行の唐鎌でございます。本日はたいへんたくさんの方にお集まりいただきましてありがとうございます。

今日は、タイトルにもあるんですが、ヨーロッパの経済、金融、政治ということで一応総括的にお話しさせていただこうかなと思っております。今紹介いただいたとおり、またこの部署名からもわかるとおりなんですが、私は国際為替